

令和2年6月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	14	佐藤 剛	8日 (月)
2	16	中沢 一博	
3	7	勝又 貞夫	
4	5	中沢 道夫	
5	3	目黒 哲也	
6	6	田中 せつ子	9日 (火)
7	4	吉田 光利	
8	2	梅沢 道男	
9	15	寺口 友彦	
10	13	岡村 雅夫	10日 (水)
11	8	永井 拓三	
12	9	桑原 圭美	
13	11	清塚 武敏	
計		13名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質 問 内 容	
2	<p>新型コロナウイルス感染拡大による当市の生活・経済支援策強化について</p>	
議 席		
1 6		
中 沢 一 博 (一問一答方式)	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、多くの企業・小規模事業者・個人事業主が売上激減により戦後最悪の事業継続の危機に立たされている。</p>	
	<p>市民の命と暮らしを最優先に守り、あらゆる手だてを講じ、苦難に直面する一人一人に希望を与えると共に難局を乗り越えなければならない。</p>	
	<p>そこでスピード感をもった中で、当市の具体的支援策を伺う。</p>	
	<p>(1) 当市の基幹産業である観光産業は新型コロナウイルスの長期化による影響で大打撃を受け、大変な状況と推測する。生活・経済実態は、どのような状況か伺う。</p>	
	<p>(2) 南魚沼市の第2弾「地方創生臨時交付金」はどのくらいと想定しているか。</p>	
	<p>(3) 「特別定額給付金」は全ての人を対象としたものである、当市の進捗状況を伺う。</p>	
	<p>(4) 国の「特別定額給付金」の対象とならない4月28日以降に出生した子どもに対する「臨時特別出産祝い金」(仮称)の支給について伺う。</p>	
	<p>(5) 観光政策のロードマップの取り組み推進について伺う。</p>	
	<p>(6) 収束後の観光需要の加速回復へ、市独自の支援策を伺う。</p>	
	<p>(7) 長期戦を見据えた中、資金繰り対策の強化と金融機関への柔軟な対応を求めるが、どうか。</p>	
	<p>(8) 官民一体となった、当市独自の安心安全の公衆衛生認定制度の策定を。</p>	
	<p>(9) 休業・自粛要請を受け、売上激減の飲食店・観光施設等のグリストラップ汚泥等処理費補助金制度の期間延長を求めるが、どうか。</p>	
<p>(10) 介護・障がい福祉サービス従事者に、特別手当の支援が必要と考えるが、どうか。</p>		
<p>(11) 新型コロナウイルスが長期化する中、市民の健診体制・高齢者の健康づくり推進は。</p>		
<p>(12) 食品ロス削減に、未利用食品を無償提供する「フードバンク」・「子ども食堂」の推進を。</p>		

質問 順位	質 問 内 容
3	1 教育現場の問題と今後の対策について
議 席	(1) 教育現場における新型コロナウイルスの影響と、これにより発生した問題点はどのようなものか。
7	(2) 感染の第2波は必ず来ると言われているが、今後予想される対策について伺う。
勝 又 貞 夫 (一問一答方式)	2 新ごみ処理施設について 新ごみ処理施設建設の今後のスケジュールについて伺う。

質問 順位	質問 内 容
5	新型コロナウイルス感染症対策について
議席	
3	<p>中長期的な With コロナ・After コロナに対応すべき戦略や手法を先駆けて準備しておくことが必要と考えるが、市長の考えを伺う。</p>
目 黒 哲 也 (一問一答方式)	<p>(1) 医療・感染予防対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①本庁舎や公共施設への来訪者に対して検温体制をとるべきと思うが、どうか。 ②市職員の在宅勤務、時差出勤等についてはどのように考えているのか。 ③庁舎機能の分散化等のリスク管理は万全か。 ④市内での感染者発生に備えた、医療従事者及び関係者への負荷事前対策はどうか。 ⑤災害発生時の新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所対応はどのようになっているか。 <p>(2) 経済支援・促進対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①南魚沼市新型コロナウイルス感染症緊急経営支援資金は、迅速に貸し付けられるよう支援できないのか。 ②打撃の大きい観光業や飲食業、これから影響が予測される製造業に対しては、更なる経済支援並びに経済促進対策が必要と考えるが、対策はあるのか。 <p>(3) 教育対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①臨時休校が続き、子どもたちや保護者へのメンタルケアの対策はあるのか。 ②臨時休校のため、子どもたちは学習する機会を失ってしまったが、一刻も早くオンライン体制がとれるように整備すべきと思うが、どうか。 <p>(4) 生活支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ①影響を受けて生活が困窮した人を支える緊急小口資金の特例貸付について迅速に対応できないのか。 ②高齢者、要介護者、障がい者等の食事など生活全般で支障が出ていないのか。必要であれば支援はあるのか。 ③テイクアウトまとめサイトや児童・生徒・学生への応援活動に対する市民団体への支援はできないのか。

質問 順位	質問 内 容
6	地方創生につなげる観光振興について
議席	
6	
田 中 せ つ 子 (一問一答方式)	<p>平成 27 年度からの南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略では「地域資源を活用した質の高い観光交流の推進」を進め、今年度は第 2 期総合戦略策定を進めている。しかし、市内観光業の現状は、昨年末からの記録的な異常少雪により、大きな打撃を受けたまま、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、その経済的大打撃は、更に広範囲に深刻化している。第 2 波の可能性もあり、長期化も懸念されている。</p> <p>祭りや観光イベント等は中止が続き、海外はもとより県外からの旅行客もまだ見通しが立たない現状だが、人口密度の低い地方の良さも再認識され始めている。製造拠点や食料品の海外依存の見直しや、更には価値観や生き方の変化も予測される。これまでの半年間のマイナスを挽回し、地域資源の魅力をどう地方創生につなげるか、ピンチをチャンスに変える新たな視点が必要と考える。</p> <p>(1) これまでの観光振興政策 4 年間は「若者が帰ってこられる、住み続けられるふるさと南魚沼」を実現するにつなげたか、成果と総括を伺う。</p> <p>(2) まずは県内誘客を強化すべきと思うが、近隣 12 市町村と広域連携する「中越文化・観光産業支援機構」の事業は進んでいるか、広域連携の活用状況を伺う。</p> <p>(3) うおぬま・浦佐駅観光案内所「MYU」を拠点として、市内全域の観光資源を循環する「おもてなしライナー」を含めた二次交通体制の推進はあるか。</p> <p>(4) 国が 7 月末からを予定している「G o T o キャンペーン」にはどう取り組むか。</p> <p>(5) 四季を通じた体験型観光施設として、八海山麓観光施設は重要な地域資源だ。施設整備を進め、充実した観光拠点とする考えはあるか。</p>

質問 順位	質問 内 容
7	第5世代移動通信システム(5G)について
議席	
4	
吉 田 光 利 (一問一答方式)	<p>今、世界は第5世代移動通信システムへの移行の取り組みを加速させており、連日のように新聞、テレビ等で5G関連の報道がなされている。通信速度の変化は約10年サイクルで進化し、2020年は5G元年とも言われており、この変革に乗っかり、南魚沼市が5Gの取り組みを、外部にアピールするのであれば、ポジティブなネタになると考える。</p> <p>日本では今年3月より、高速、大容量化、超高速の第5世代移動通信システムの実用化が一部スタートしたが、全国的な普及には、電波エリアの狭い特性、対応機器の準備等課題も多くある。行政が音頭を取り、他の地域に先駆けて、通信インフラ整備を進めるかどうか、将来の市の発展と成長の分岐点と思う。そこで、市長の所見を以下に伺う。</p> <p>(1) 全国的な普及への最大の課題である「5Gアンテナ基地局」設置へ、市自ら誘致活動を進めるべきと思うが、どうか。</p> <p>(2) 地域の企業や自治体等の様々な主体で柔軟に構築できる「ローカル5Gシステム」について、市としても検討するべきと思うが、どうか。</p> <p>(3) 第5世代移動通信システムは、若者の移住・定住や、企業進出の魅力的なツールとなり、人が集まりやすい街につながると思うが、所見を伺う。</p>

質問 順位	質問内容
8	1 新ごみ処理施設建設に向けた今後の方針と進捗状況について
議席	
2	<p>新ごみ処理施設建設については、平成24年7月のごみ処理施設広域化検討会に端を発し、建設予定地の一般公募や国際大学用地内の建設計画等の検討を進めてきたが、2月20日の議会全員協議会で「計画は白紙に戻し、改めて検討する」ことが表明された。</p>
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	<p>この間、焼却施設の老朽化も進み、一時も早い施設建設が望まれるが、今後の新ごみ処理施設の建設に向けた手法や建設スケジュール等の検討状況について伺う。</p> <p>2 緊急事態に対応した予算の組み替えについて</p> <p>全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの感染も、ようやく全国的に緊急事態宣言が解除となったものの、出口戦略は未だ見えず、当市も今議会で第2弾となる「経済支援対策」を決定する運びとなっている。</p> <p>しかし、今後の感染状況や経済状況に注視しながら、さらなる対策や支援の必要性も高まっており、そのための財源確保も喫緊の課題となっている。そこで伺う。</p> <p>(1) 東京オリンピックの延期を受けて、雪資源活用事業費を皆減とし、今後の対策に備えるべきと考えるが、市長の認識を伺う。</p> <p>(2) 錢淵公園整備事業費については、1年先送りとし、補助事業による事業実施を検討すべきと考えるが、市長の認識を伺う。</p>

質問 順位	質問内容
10	<p style="text-align: center;">南魚沼市医療のまちづくり構想を問う</p>
議席	<p>2019年6月定例会で、医師確保対策のほか、市の医療施策全般への専門的な見地から意見をいただくため、新たに医療政策特別顧問を設置し、外山千也氏を登用した。任期の更新は妨げない。</p>
13	<p>2020年3月1日には、「医療のまちづくり検討委員会」が設置され、7人の錚々たるメンバーに就任いただいた。外山氏も委員となっている。</p>
岡 村 雅 夫 （一問一答方式）	<p>また今年度、予算1,875万円で医学部寄附講座が開設される。</p> <p>(1) 特別顧問の具申での一連の動きか見えるが、構想について伺う。</p> <p>①特別顧問に抜擢したいきさつと理由は。</p> <p>②特別顧問との取り組みの成果は。</p> <p>③どう医師不足解消等に有機的に連動させようとしているのか。</p> <p>④市長の構想を示しての諮問であるべきと考えるが、どうか。</p> <p>(2) 「医療のまちづくり検討委員会」設置に至る経緯と目的を伺う。</p> <p>①特別顧問の外山氏を委員にした理由は。</p> <p>②特別顧問と結論に至らなかった点を示し、委員会の提言を求めたらどうか。</p> <p>③現場の委員がいないのは何故か。</p> <p>④既に医療再編は済んだと認識していたが更に進めるのか。</p> <p>⑤魚沼基幹病院の役割に変質があるが、どう捉えているか。</p> <p>(3) 医学部寄附講座の構想・運営について伺う。</p> <p>①医師招聘にどう繋がるか。</p> <p>②計画の年限はあるか。</p>

質問 順位	質問 内 容
11	これからの交流人口に関して
議席	
8	
永 井 拓 三 (一問一答方式)	<p>2020年春からの新型コロナウイルスの感染防止対策によって、日本社会の働き方は大きく変わった。特に首都圏の外資系の法人を中心にテレワークを基本としながらオフィスの縮小を図るなど、これまでにない考え方や働き方で経済循環を生み出そうとしている。これらの流れを南魚沼市としてどのように捉えているかを質問する。</p> <p>(1) 首都圏からのアクセスの良さを生かした、2拠点生活を含む移住推進はいかに。</p> <p>(2) 仕事と余暇の過ごし方のバランスを組み合わせたワーケーションはいかに。</p> <p>(3) 交流人口の変遷をどのように予測しているか。</p> <p>(4) 地域のマーケティングとプロモーションをどのように進めるか。</p>

質問 順位	質問 内 容
12	<p style="text-align: center;">市長の市政運営について</p>
議席	
9	
桑 原 圭 美 （一問一答方式）	<p>林市政４年間を振り返り、選挙での「若者が帰ってこられる南魚沼」という看板フレーズに対して具体的な進展があったかどうか。</p> <p>また、自治体の長として決断の日々だと思うが、スピード感をもって取り組めたかどうか。住環境整備の一部としても急がなくてはならない新ごみ処理施設建設は頓挫しているが、計画の遅れよりも進め方に問題があるように思われる。財政問題としては、地域にとって重要な病院事業改革が必要であるが、どのような舵取りをするのか。新型コロナウイルスの影響で経済は疲弊し、先行きの不透明感が市民社会に不安を与えているが、オリンピック関係や中学生の海外派遣などの事業を中止し、少しでも新型コロナウイルス対策に振り向けることはできないのだろうか。</p> <p>今回も前回同様に市長の市政運営の姿勢について聞きたいと思う。</p> <p>(1) 若者が帰ってこられる基盤づくりはどうだったか。企業誘致等による雇用の場の確保が大事であると思うが、進んでいない。市長が言う「若者が帰ってこられる」とはどういう市政をいうのか。</p> <p>(2) 住民との合意形成は政策遂行の重要なプロセスであるが、今後の事業推進に向けてどのような進め方をするのか。</p> <p>(3) 地域医療体制の整備をどうするのか。病院事業改革＝財政改革と位置付けて抜本的な改革を示すことはできるか。</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの影響に対する学力の保証をどう考えているか。</p> <p>(5) 行財政改革の取り組みとして、事業計画の見直しや予算の組み替えは検討しているか。今後、大型事業を控える中で、実質公債費比率県内ワーストワンから脱却するという目標をクリアできるか。</p>

質問 順位	質問内容
13	ふるさと納税、県下ナンバーワンの実現は
議席	
11	
清 塚 武 敏	<p>市長が4年前、ふるさと納税返礼品の取り組みを開始してからは、全国多くのみなさんから応援をいただき、年々寄附金額は右肩上がりとなっている。南魚沼市がめざす将来像「自然・人・産業の和で築く安心のまち」の実現や、経済支援策の財源にもなった。また、南魚沼市の魅力の発信に大きく貢献できたと考える。</p> <p>しかし、県下ナンバーワンの壁は高かった。昨年度は魚沼市にも抜かれている。今までの取り組みの分析をどう捉えているか、県下ナンバーワン実現の戦略をどう進めていくのか伺う。</p> <p>(1) 今までの取り組みの実績を、どのように分析していて、今後の戦略として進めていくのか。</p> <p>(2) 寄附申込サイトの拡大による効果と経費は。</p> <p>(3) 返礼品取り扱い事業者数の推移と、今後の返礼品の拡大をどう進めるのか。</p> <p>(4) ふるさと応援隊の効果と今後の取り組みは。</p>
(一問一答方式)	